

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス静岡八幡教室		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 6日	～	令和6年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 41人	(回答者数)	38人 (回答率93%)
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 30日	～	令和6年 12月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 12月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・指導員と子ども1対1の個別支援のため、子ども一人ひとりの状態(発達や心情など)に応じた療育ができる。	・個々の興味関心に寄り添った支援内容や教材を作成している。 ・一人ひとりの発達課題や成長段階に応じた課題を設定している。	・子どもの実態及び課題点と保護者の願いが合致していることを適宜確認しながら、より効果的な支援を行っていく。
2	・子どもが在園する保育園・幼稚園などに定期的に訪問するなど、関係機関との連携も密にしている。	・園での集団生活や今後の就学及び社会生活において必要なスキルの確認を行っている。 ・個別療育での学びをスムーズな集団活動につなげていく。	・事業所からの訪問だけでなく、園からも事業所へ個別療育の見学等に来ていただくことも実践している。
3	・保護者との個別面談(育児や就学など保護者の要望に応じた相談など)の実施。	・個別療育のため、個別支援時間やご家庭の都合に合わせて面談時間設定し、継続的且つ丁寧な家族支援ができるよう努めている。	・希望に応じていつでも実施しているが、定期的な面談実施の周知及び計画(面談室の確保等)をすることで、さらに充実した親子支援としていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別療育が主となるため、小集団の枠が少ない。	・集団での活動や友だちとの関わりが希薄である。	・数名の児童が活動できる環境設定(スペース確保・教具設置など)。 ・長時間のサービス提供ができる支援体制及び療育内容の検討。
2	・通所するお子さんの車両等での送迎は実施していない。	・送迎に時間をとることよりも、支援時間を充実させることを大切に考えているため送迎の実施が難しい。	・療育対応等にゆとりが出てくれば送迎も検討余地があるが、現時点では送迎実施の予定はない。
3			